

不良品や誤配送の交換対応について

製品には細心の注意をはらって製作および点検を行っておりますが、到着しました製品に不具合・欠陥・商品違いがございましたらご使用されずにご連絡ください。電話・メール・LINE等でご対応いたします。

ご連絡の際、早急に解決策をご提案できるように下記の情報をお伝えください

- ・ いつ購入したか
- ・ お電話されている方は使用者本人か
- ・ どこに異常があるか
- ・ バッテリーやインバーターの色
- ・ 箱罫、くくり罫どちらで使用しているか
- ・ 説明書は手元にあるか
- ・ 購入された方の電話番号

電話 080-7412-6008

FAX 050-3145-3078

MAIL ohtaofg@gmail.com

対応時間: 平日 AM9:00～PM3:00 (夏季・冬季休業日除く)

※対応時間でも山にいて電話に出られないことがあります。

恐れ入りますが、メッセージを残していただくか、非通知以外でご連絡ください。
折り返しは翌営業日になる場合がございます。

店舗 〒843-0303
佐賀県嬉野市嬉野町吉田丙2764番地1

※不在の場合がございます。ご来店前にご連絡をお願いいたします。

太田製作所HP inoshikajp.com

直営オンラインショップ ohtawanashop.com

合同会社 太田製作所

電気止め刺し機 取扱説明書



※ご使用前に本書を最後までお読みください。
誤使用による事故や破損、法令違反の責任は負いかねます。

発行:2025年11月 第二版

お問い合わせ:TEL 080 7412 6008

MAIL ohtaofg@gmail.com
LINE ID @367mjcw で検索



太田製作所

※弊社製品は改良、安全対策等のために予告なく原材料・サイズを変更することがあります。
また、諸般の事情により予告なく価格を変更する場合がございます。

<内容品>

各セット 共通部品

- ・バッテリー
- ・バッテリー充電器
- ・バッテリー側ソケット
- ・インバーター(ソケット付き)
- ・ゴム手袋
- ・取扱説明書



1本槍

共通部品+止め刺し棒1本(手元スイッチ、アースクリップ付き)



2本槍

共通部品+止め刺し棒2本(手元スイッチ付き)



セルフ

共通部品+止め刺し槍先(2個)、手元スイッチ付きコード、
アース用クリップ



使用上の注意 <よく読んでご使用ください>

- ・本製品は、捕獲された獲物を人道的かつ迅速に処理することを目的とした機器です。人体および家庭用ペット等、獲物以外の動物に対しては、いかなる場合も使用しないでください。
- ・人体への使用は、重大な傷害または死亡事故を引き起こす恐れ、刑事罰、民事上の責任を問われる場合があります。
- ・ご使用にあたっては、必ず絶縁性の高いゴム手袋および長靴を着用してください。雨天・霧・露・結露など、湿度の高い環境下では絶対に使用しないでください。感電、故障、または重大な事故の原因となるおそれがあります。
- ・製品がお手元に届きましたら、速やかに開封し、付属品の有無ならびに本体や各部品に破損・異常がないかをご確認ください。特に、電線・端子・絶縁体の損傷や緩み等がないかを十分にご点検のうえ、異常が認められる場合は使用を中止し、購入店までご連絡ください。
- ・保管は、小児や第三者の手の届かない場所にて厳重に行ってください。車内など直射日光の当たる場所、高温(目安:60°C以上)または多湿環境、水漏れの恐れがある場所での保管は避けてください。
- ・インバーターおよびバッテリーは精密機器です。水濡れ、高温(車内)強い衝撃、振動、落下などに十分ご注意ください。濡れた状態での通電は行わないでください。
- ・水洗いや高圧洗浄機で洗浄しないでください。汚れは乾いた布、または水気を十分に絞った布で軽く拭き取ってください。使用後水分を拭き取って保管ください。
- ・付属の専用充電器で充電してください。可燃物を近づけず、換気の良い環境で充電してください。
- ・充電完了後は、速やかに電源プラグを抜き、充電器をコンセントやバッテリーに接続したまま放置しないでください。
- ・バッテリーの廃棄は、各自治体の指示に従い、適切な方法で処分してください。
- ・長期間使用しない場合、自己放電を補うため充電後、暑い時期は3ヶ月、寒い時期は6ヶ月毎に充電してください。
- ・保管または輸送の際は、絶縁できる素材をあて金属製品や工具などと接触しないようにしてください。
- ・本機の分解・改造はしないでください。非正規改造・交換は感電・発火・故障の原因です。
- ・指定外のバッテリー、インバーター、ケーブルを接続することはおやめください。
- ・ぐくり罠等により捕獲された動物に使用する際は、必ず十分な保定(固定)を行った上でご使用ください。動物が暴れた場合、本機および周囲の人への危険が生じるおそれがあります。
- ・ご使用中に異音・異臭・発煙・過度な発熱などの異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、バッテリーの接続を解除して安全な場所へ移動させてください。
- ・周囲に可燃性ガスまたは可燃物が存在する環境では、絶対に使用しないでください。放電時のスパークが引火し、火災または爆発を引き起こす危険があります。
- ・本機の操作は、狩猟免許を所持する方のみが行ってください。無免許者の操作は禁止されています。
- ・緊急時(感電、重傷、その他重大な事故の発生時)には、直ちに通電を遮断し(安全を確保した上で電源を切断)、119番へ通報し、速やかに医療機関で診察を受けてください。状況に応じて救命処置を施してください。
- ・本製品は定期的な点検を推奨しております。使用の都度、目視による安全確認を行い、(高電圧・感電注意・人に使用しない・防水禁止等)を遵守してください。
- ・本機は、関連法令および条例の規制対象となる場合があります。用途や使用方法に関して法令上の不明点がある場合は、必ず管轄の行政機関へ確認を行ってください。
- ・操作方法その他使用に関してご不明な点がございましたら、まず本書の内容をご精読のうえ、弊社公式YouTubeチャンネルの解説動画をご参照ください。それでも解決に至らない場合は下記までお問い合わせください。

電話 080-7412-6008

MAIL ohtaofg@gmail.com

LINE ID @367mjcwf

対応時間
平日AM9:00～PM3:00
(夏季・冬季休業日除く)

※対応時間でも山にいて電話に出られないことがあります。

電気止め刺し機
解説動画



- ・本製品の誤使用、不適切な保管、改造等により発生した事故または損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品のご購入後、お受け取り日より1週間以内にご連絡がない場合は、本書の内容および製品の状態(付属品の有無・本体ならびに各部品の異常の有無)について、ご確認いただけたものとみなします。1週間を経過した後に判明した破損や付属品の欠品等につきましては、弊社の補償・交換の対象外とさせていただきます。

※1本槍・2本槍ご使用の方は使用方法(p6)よりご確認ください

セルフ電気止め刺し機組み立て方



コードを通す塩ビパイプはお客様でご用意ください

セットの止め刺し槍先キャップは13mmです。

キャップを大きい径のものに変更して太いものを作成することも可能です。(p4参照)

組み立て方 ①～④までは、1本槍・2本槍ともに同じ工程



手元スイッチ付きコードを塩ビの長さに合わせて割く



コードを1本槍塩ビパイプに通す



塩ビを通したコードと止め刺し槍先のコードをつなぐ



塩ビパイプを槍先に押し込む

1本槍



もう片方のコードをアース用クリップにつなぐ



1本槍電気止め刺し機完成

2本槍



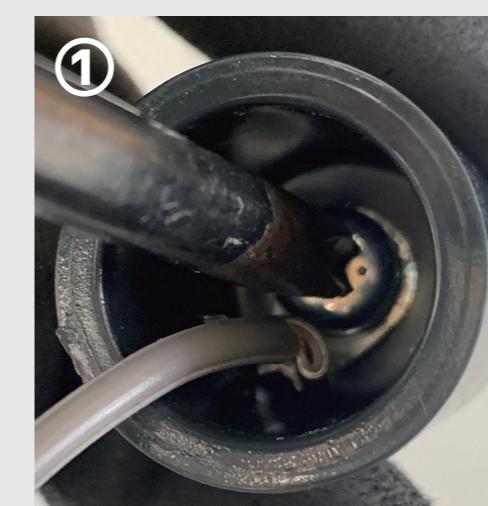
塩ビを通したコードと止め刺し槍先のコードをつなぐ



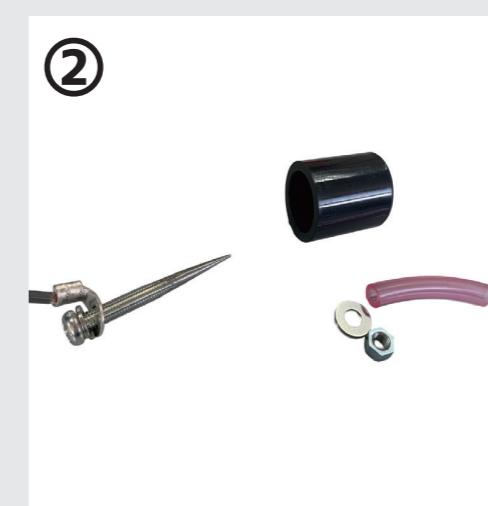
2本槍電気止め刺し機完成

～上級者向け～

塩ビパイプの径の違うものを作る場合
セルフ電気止め刺し機セットの止め刺し槍先のキャップは13mm用ですが、針先を違う
径のキャップに付け替えると13mm以外の太さの止め刺し棒を作ることができます。



キャップ内側のネジを外す



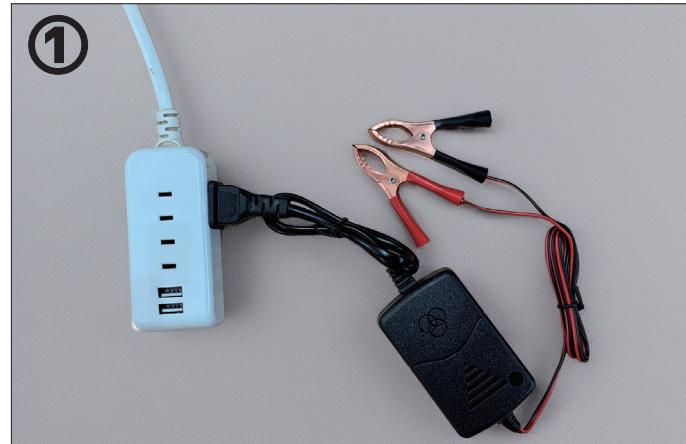
部品をバラしパーツに分ける



取り替えたい径のキャップに
交換し組み戻す

バッテリーの取り扱い方法

充電方法



① バッテリーの充電器のソケットを家庭用コンセントに差し込みます。



② バッテリー充電器のワニクリップで電極をはさむ。+(プラス)が赤、-(マイナス)が黒です。

※充電は風通しの良いところで行い、火気に近づけないでください。

※充電は一晩(約5~6時間)かかります。10分~20分では充電できません。

※充電器のクリップは電極をしっかりとはさんでください。

充電の頻度

- ・ 20回使用、もしくは月に1度充電してください。
- ・ 使用中に電力の弱まりを感じた時も充電してください。

結束バンドに関して

ワニクリップの誤った取り付け防止のために装着しています。外すとインバーターの保証対象外となります。詳しくはP14を参照してください。

- 使用後は全ての接続(バッテリーのクリップ、バッテリーとインバーターのソケット)を解除して保管してください。接続したままにすると発火の原因となります。
- 雨露、粉塵、直射日光、高温・多湿の影響を受けない風通しの良い場所に保管し、横倒しの状態にしないでください。
- 長期間使用しない場合は自己放電を補うため充電後は<5月~10月>3ヶ月おき、<11月~4月>6ヶ月おきに充電保管してください。

バッテリーは使用により徐々に劣化し、寿命を迎えます。

寿命は高温や使用頻度(少なすぎ・多すぎ)、過充電などによって短くなります。

「充電しても性能が戻らない」または、「動作の反応が鈍くなった」「停止操作の効きが弱くなつた」などの症状が出たら、バッテリー交換をおすすめします。(P13参照)

太田式電気止め刺し機使用方法

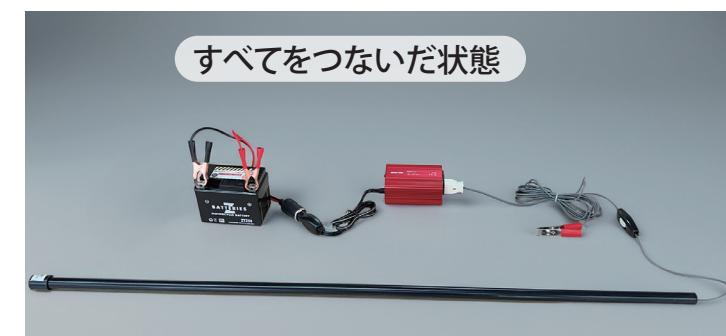
①～④までは、1本槍・2本槍ともに同じ手順



① ご使用前にP5を読みバッテリーを充電してください(出荷時満充電)。バッテリーソケットクリップを、**黒をマイナス、赤をプラス**に接続します。(極性を絶対に間違えないでください)



③ 手元スイッチが「off」(切)になっていることを確認しインバーターの差込み口に止め刺し棒のコンセントプラグを挿します。



手順⑤は、槍の数・罠の種類(くくり・箱)により方法が異なります。

1本槍>>>P7,8



② バッテリー側とインバーター側のソケットをつなぎます。



④ インバーターの電源を入れます(ランプ点灯)。手元スイッチを「ON」または「入」の文字が見える状態にする。→電気が流れます。

接続方法の動画はこちら▶



2本槍>>>P9,10

⑤ 1本槍

1本槍はアースクリップを回して電気が流れ、槍を刺した時に
槍先→獲物→アースクリップの順に電流が流れる構造です。

くくり罠で使用



⑤-1.1 本槍でくくり罠使用の場合

必ず鼻止め等で獲物を保定してください。鼻、または足の保定用ワイヤーに槍のアースクリップを取り付けます。※ワイヤーにアースクリップがしっかりとついていないと電気が流れにくいです。クリップがしっかりと密着するように取り付けてください。

<槍を刺す位置>



体全体に電気を流す必要があるので、アースクリップを鼻側のワイヤーにつけたら尾側、アースを足につけたら頭部側付近に槍を刺して下さい。

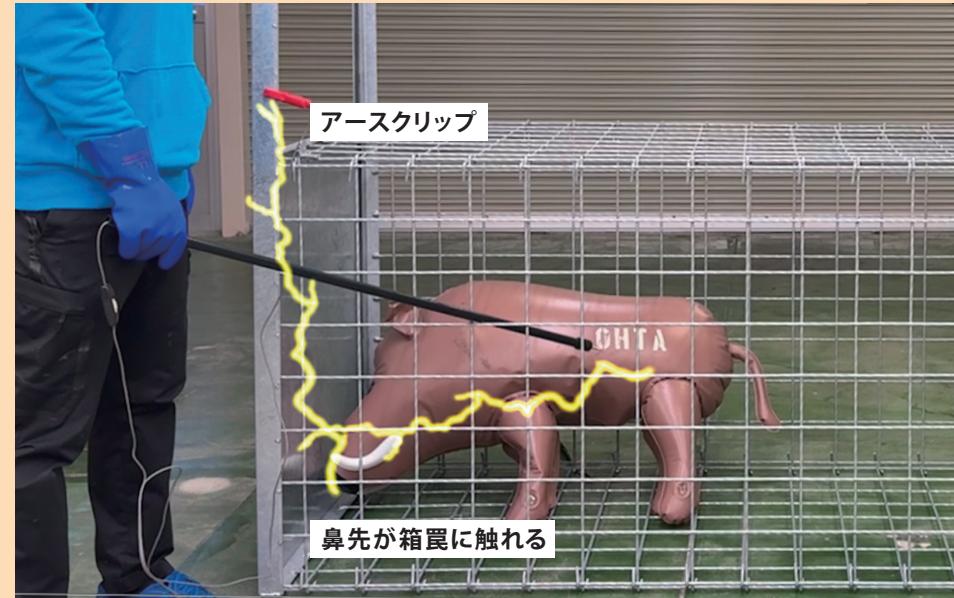
箱罠で使用



⑤-2.1 本槍でくくり罠使用の場合

箱罠のメッシュの錆や塗装を削り、槍のアースクリップを取り付けます。
※箱罠にアースクリップがしっかりとついてないと電気が流れにくいです。
アースクリップをしっかりと密着するように取り付けてください。

<槍を刺す位置>



腰～尾部を刺すと獲物は飛び上がり、脚を伸ばします。鼻が箱罠に触れる位置を狙ってください。正面を向いていたら、火花で驚かせ尾を向けさせます。横向きで鼻が触れそうなら刺して可。距離が遠いと、衝撃で槍が抜ける場合があります。

⑤ 2本槍

2本槍は2本同時に獲物に刺して電気が流れる構造です。
刺した時に槍先1→獲物→槍先2の順に電気が流れます。
槍を2本同時に刺さずに止め刺しする方法もあります。⑤-4)

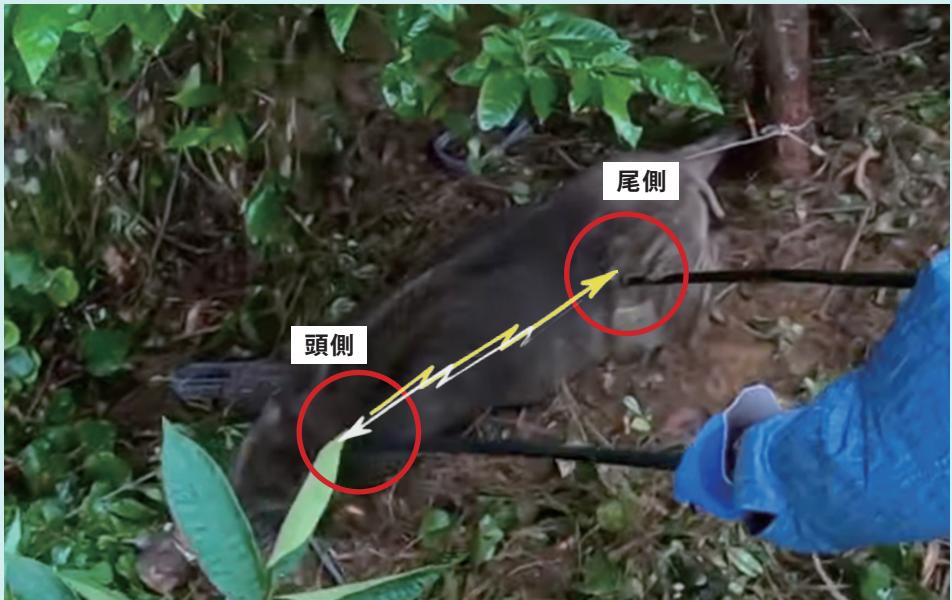
くくり罠で使用



⑤-3.2 本槍でくくり罠使用の場合

必ず鼻止め等で獲物を保定してください。頭側と尾側にそれぞれの槍を刺してください。

<槍を刺す位置>



体全体に電気を流す必要があるので、1本を頭付近、もう1本を尾側で刺してください。
電気を流すと足がピンッと伸びます。突き刺した後の獲物の動きを想定しておきましょう。

箱罠で使用



⑤-4.2 本槍でくくり罠使用の場合

箱罠のメッシュの鋲や塗装を削った箇所に1本の槍先を接面させアースをとります。
(獲物は暴れているため槍が倒れます。箱罠と槍先の接面が離れないようにクリップ等
で外れないように工夫してください)もう一方の槍で獲物を刺します。

<槍を刺す位置>



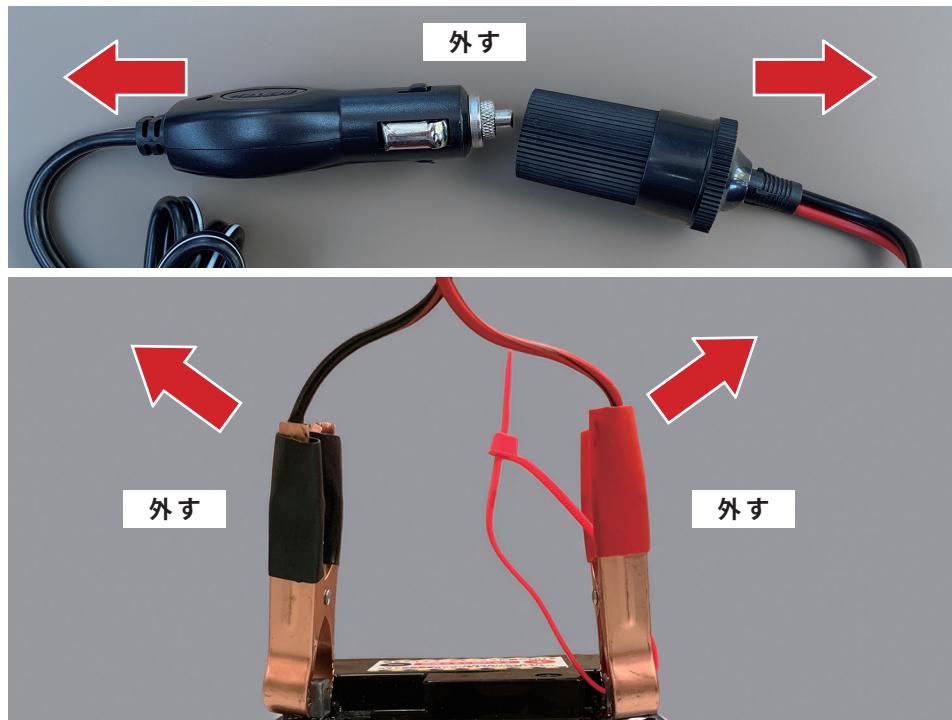
両槍で刺す場合、体全体に電気を流す必要があるので1本を頭付近、もう1本を尾側
で刺してください。2本槍を1本槍として使用する場合の槍を刺す位置はP8⑤-4を参照
してください。

⑥～⑦は、1本槍・2本槍ともに同じ手順



⑥躊躇せず思いっきり槍を獲物に突き刺します。

獲物が横たわっても復活する可能性があります。倒れた後も電気を長く流すか、ナイフで放血して安全を確保してから獲物を回収してください。長いナイフは箱罠の外側から放血できて便利です。



⑦使用後は、すべての接続を解除してください。

使用が終わったら、止め刺し棒のコードを束ねバッテリーの電極をはさんでいるクリップをはずしソケットを抜いて保管してください。接続をそのままにしていると1日で放電してしまいます。使用後は、すべての接続(バッテリーのクリップ、バッテリーとインバーターのソケット)を解除してください。接続したままにすると大変危険です。

電気がうまく流れない!? まず下記をご確認ください

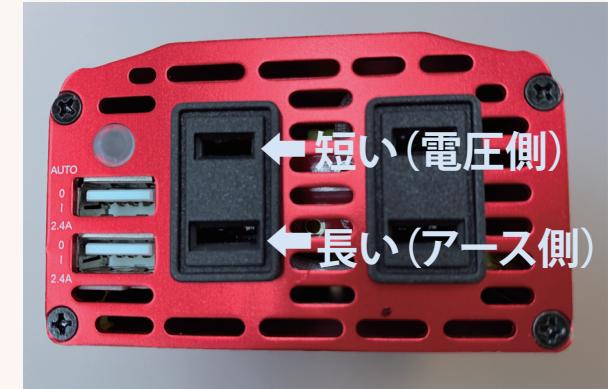
手元スイッチの確認をしてください。

「ON」「入」の文字が見えている時に電源が入っている。電気が流れる状態です。(右写真参照)



インバーターに差し込んでいるプラグの向きを変えると改善することがあります。

- ①インバーターのプラグを抜き、上下を逆にして(差し込み穴の長い方と短い方を入れ替えて)、差し込み直します。
- ②プラグの差し込み方向を変えることで、アース側へ逃げていた電気が解消され、効果が改善されることがあります。



その他 確認事項・対処法

<1本槍>アースはしっかりとされていますか?

箱罠はペンキ・サビ、を削り落としてからアースクリップを装着してください。くくり罠のワイヤーの泥をしっかりと落としてアースクリップを装着してください。

バッテリーの電池残量は充分ですか?

しばらく充電していない等あればバッテリーを充電してから使用してください。

インバーターの電源ランプは点灯していますか?

充電残量に問題がない場合、バッテリーの赤と黒のクリップをしっかりとはさんでください。ソケットの接続が正しくされているか確認してください。

インバーターの安全装置が起動していませんか?

電気止め刺し機の電源とインバーターの電源をどちらもOFFにして、電源を入れ直してみてください。

槍先はしっかりと獲物に突き刺されていますか?

槍先が触れているだけでは電気は流れません。箱罠の場合、獲物を鉄柵に押し付けるように突き刺してください。鼻部分が鉄柵に触れている方が電気が流れやすいです。

乾燥する時期ではありませんか?

乾燥していると電気が流れにくいで。獲物に水をかけてみてください。ペットボトルで水を携帯しておくと便利です。

交換部品購入

交換部品は弊社にて過去に電気止め刺し機を購入いただいた方にのみ販売いたします。



1本槍 ¥10,000



2本槍 ¥12,000



セルフ用槍先・アースセット ¥10,000



バッテリーセット ¥7,000



バッテリー ¥4,000



バッテリー充電器 ¥3,000



バッテリー側ソケット ¥2,000



インバーター ¥8,000

旧仕様電気止め刺し部品



旧インバーター側ソケット
¥3,000



旧バッテリー側ソケット
¥2,000

交換部品についてのご注意

- お電話、LINE、メール、FAXでのみ承ります。
- 全商品税込、25,000円未満は別途送料が発生いたします。
- 代引きでお支払いの場合、ヤマト運輸配送のため送料(1,000円～2,500円) + 代引き手数料(300円～400円)がかかります。
- 小さな部品をご注文の方はポスト投函(送料300円)でお送りできます。お客様負担を抑えるためにも銀行振込、PayPay送金でのお支払いがおすすめです。
- 銀行振込でお支払いの場合はご入金確認後の発送となります。
- お振り込み手数料はお客さままでご負担ください。
- 通常ご注文より1～3営業日に発送いたします。

お支払い方法

代金引換

<代引き手数料> 3万円未満:300円 3万円以上:400円

銀行振込

楽天銀行

第一営業支店 251
普通口座 口座番号 7862455
名義 ド)オオタセイサクショ

ゆうちょ銀行

【ゆうちょ銀行からの振込】 【他の金融機関からの振込】
記号 17760 番号 20401531 ナナ ナナ ハチ
名義 ド)オオタセイサクショ 店名 七七八 普通預金
口座番号 2040153
名義 ド)オオタセイサクショ

※ご入金確認後の発送となります。振込み手数料はお客様でご負担ください。
※振込用紙の送付は行っておりません。

PayPay送金

送金先 太田政信 08052581350 PayPay

【重要】バッテリーの結束バンドに関して



バッテリーのワニクリップの誤接続防止のためクリップとバッテリーをピンク色の結束バンドで接続しています。この結束バンドを外されると、**インバーターの保証対象外**となります。結束バンドは取り外さずに「装着されたまま」の状態でご使用くださいようお願いいたします。